

Profile

1987年生まれ
中学1年生まで向陽中学に通う。
NHK長野放送局を経て、静岡放送局へ。ひる・しずキャスト、たっぷり静岡の「どこ行こうかな? しずまっぷ」「てくてくライブ」でリポーターを務めている。
趣味は御朱印帳を持ってお出掛けすることと、ミュージカル鑑賞。

きらり
いわた
人

NHK静岡放送局キャスター

おおした かな
大下 佳菜 さん

今回紹介するきらりいわた人は、キャスターの太下佳菜さんです。太下さんはニュース・情報番組のキャスターをはじめ、リポーターとして県内各地を巡り、季節ごとに魅力的な話題をお茶の間に届けています。2月25日(土)に行われた「30歳の大同窓会三十会 in いわた」では、同窓生として、また司会者としても参加しました。

キャスターになろうと思ったきっかけは?

中学生の時に父の仕事の都合で台湾の学校に転校しました。その時にアメリカ同時多発テロ事件が起き、通っていた学校の近くにアメリカンスクールがあったので、連日現地の放送局の人たちがリポートをしていました。堂々と原稿を見ずにリポートしている姿を見て、カッコいいなと思ったのが伝える仕事をしたいと思ったきっかけです。

キャスターの仕事をする上で、気を付けていることは?

朝早かったり、夜遅かったりするので、万全の体調で臨めるように体調管理には気を付けています。人に伝える仕事なので、自分が面白いと思ったことをとことん掘り下げて、

皆さんにどんな映像で、どんな言葉で伝えたいかを常に考えながら仕事をしています。

「30歳の大同窓会三十会 in いわた」では、司会を務めましたね。

昨年、自分が立てた企画で磐田を初めて取材させていただいたのが「三十会」だったので、とても印象深く思い入れがありました。そこからつながって、今回同級生の顔を見ながら司会を務めさせていただくことになり、とても光栄でした。この取り組みに参加して、地元磐田に関わることができたので、とてもうれしかったです。

小さい頃はどんな子でしたか?

ずっと外で遊んでいましたね。花を摘んだり、虫を見たり触ったりしていました。それが今の仕事にもつながっていて、静岡ならではの四季の移り変わりや楽しみ方をお伝えしたいと取材に臨んでいます。

今後の目標は?

旅のコーナーを担当しているので、県内全市町を回ることと、地元磐田や普遊びに行った西部のまちをたくさん取材して、地元の魅力を届けていきたいです。